

2023年8月24日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「組合員・利用者本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

つくば市谷田部農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者の多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、組合員・利用者のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	0 (前年度末：0)	1 (前年度末：2)
株式型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
REIT型	0 (前年度末：0)	0 (前年度末：0)
バランス型	4 (前年度末：4)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

2022年4月1日

◎コア・サテライト戦略について

保有する資産を守るの「コア(中核)資産」と
残りの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>

コア
安定的な運用を目指す
・国内の債券ファンド
・安定型の債券ファンドなどが
主

サテライト
・個別ニーズに応える単一資産ファンドなどが
主

◎JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、
国内の約6,000本のの中から、
JAバンクが独自の基準で
長期投資に適した投資信託を選定しました。

主な選定基準

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 分散性 資産形成には、適度に分散度を提出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客様の長期投資にとって
最善の運用を目指し、投資信託を
厳選してご紹介します。

I.取組状況

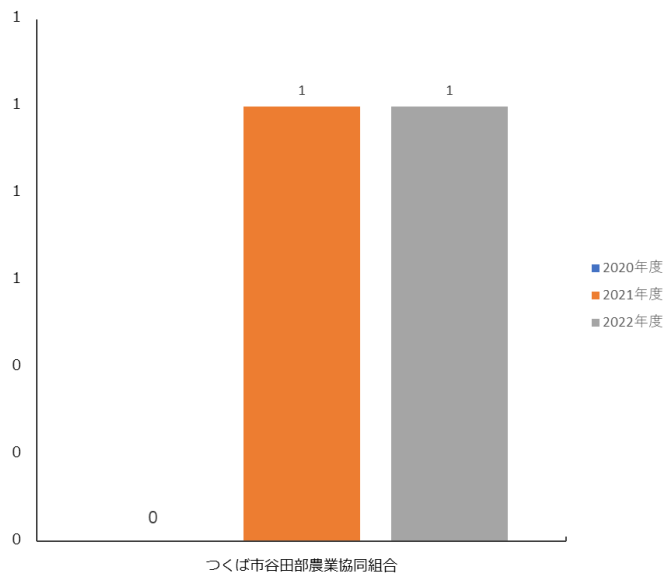
2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

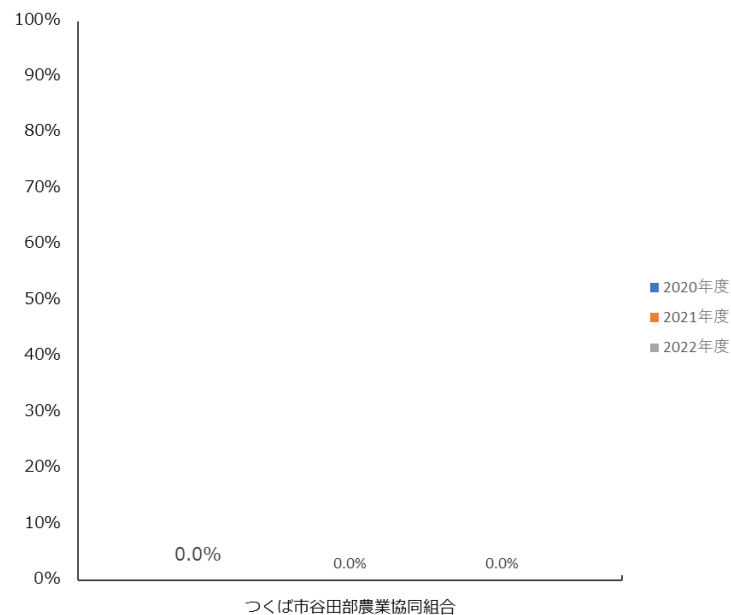
- 組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的をお聞きしながら、組合員・利用者につながる商品をご提案いたします。

<投信つみたて契約件数>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I .取組状況

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 組合員・利用者にふさわしいサービスの提供
- 組合員・利用者の投資判断に資するよう、商品やリスク特性・手数料等重要な情報を分かりやすく丁寧に提供いたします。
- 組合員・利用者に負担いただく手数料について、投信判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすく説明いたします。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 組合員・利用者への商品・サービス選定や情報提供にあたり、組合員・利用者の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

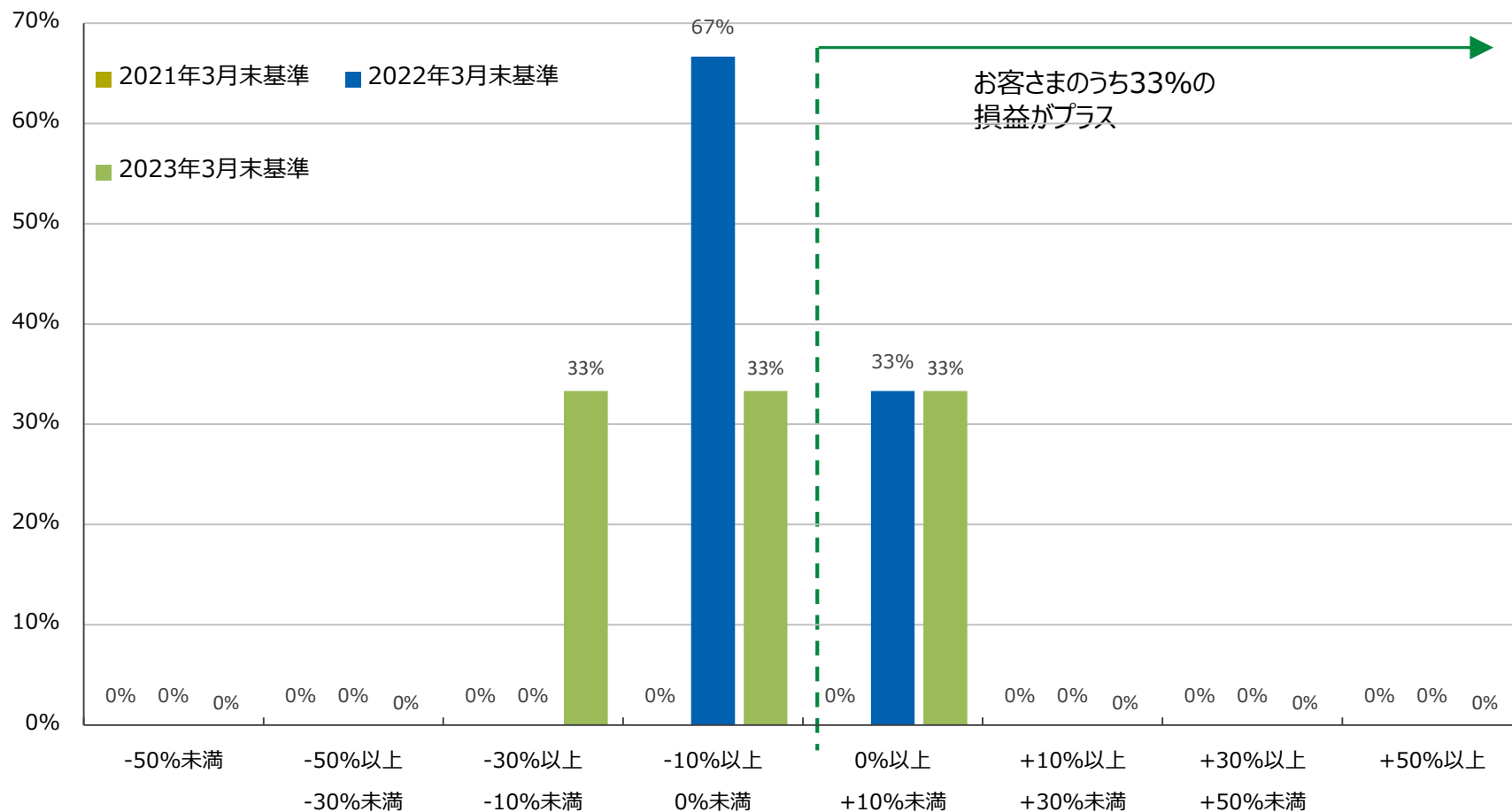
【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

- 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の33%の組合員・利用者の損益がプラスとなりました。

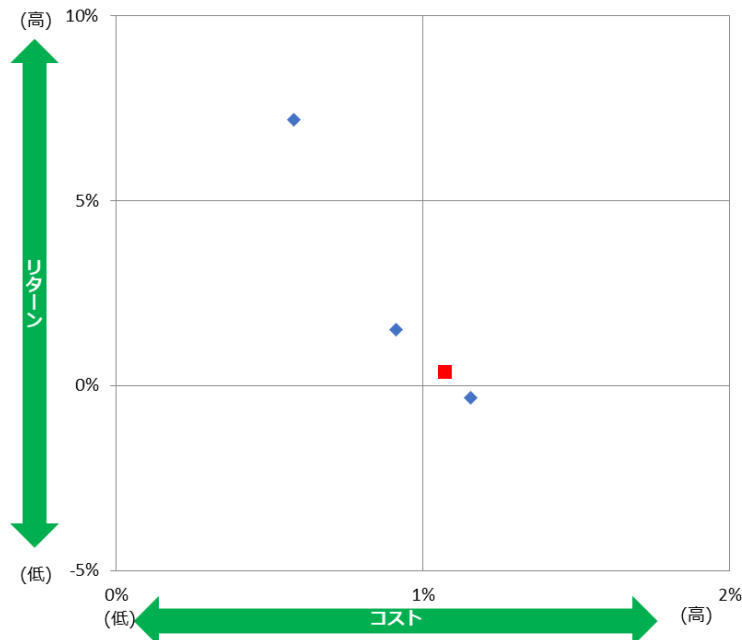


Ⅱ.比較可能な共通K P I

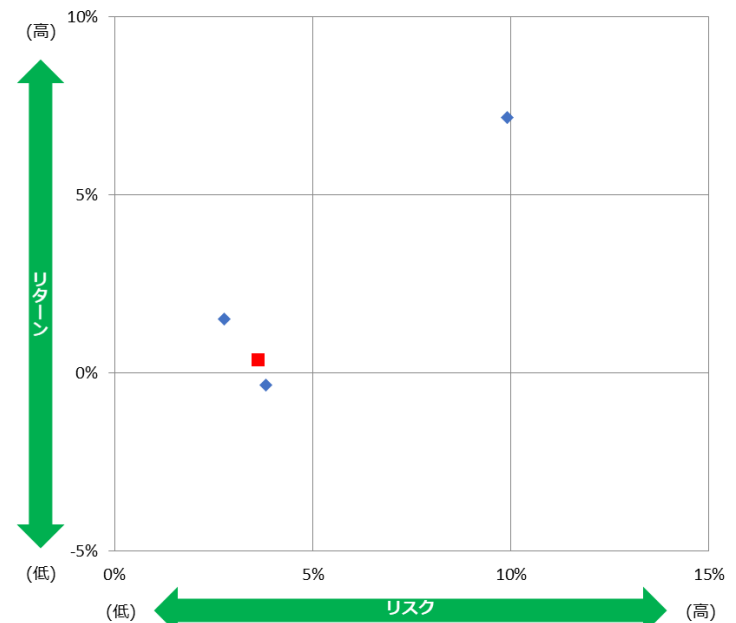
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2023年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.07%、平均リスク3.62%に対して、平均リターンは0.36%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

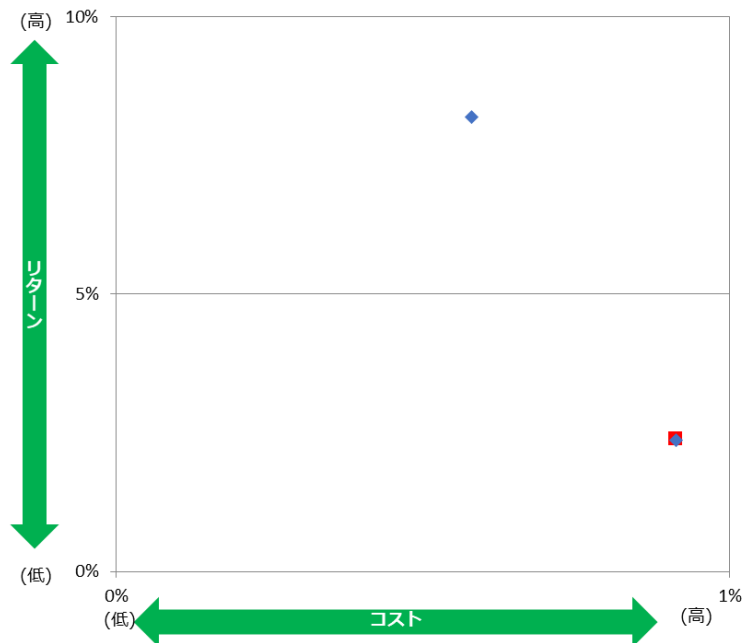
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

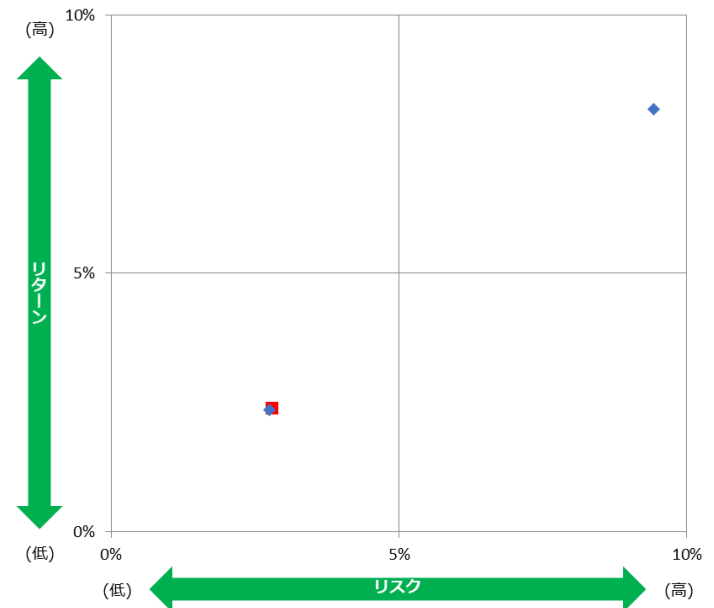
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク2.79%に対して、平均リターンは2.39%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
2	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		0.36%	3.62%	1.07%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	2.36%	2.76%	0.91%
2	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	8.19%	9.42%	0.58%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		2.39%	2.79%	0.91%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。